

平田篤胤 狂信から共振へ

やました ひさお 斎藤英喜編
山下久夫、齋藤英喜編

定価 六、六〇〇円

▼A5判・上製カバー・360頁

2023年3月刊行



狂信的な国粹主義者か、はたまた神仙思想に没頭し、魂の尊厳を問うた求道者か。民俗学はなぜ国粹主義と親和性があるのか。多角的な視点からファシズムを再考する。

【目次】

序章 狂信から共振へ 【山下久夫】

I 同時代との共振

第一章 『古史伝』の神代像と『香取志』『鹿島志』
——共振を求めて 【山下久夫】

第二章 「気吹舎」の出版活動と在地の「知」
——共振する伊豆国 【中川和明】

第三章 平田篤胤と近世仏教
——『排除』と『包括』 【森和也】

第四章 近世知識人の怪異認識と平田篤胤
——「天狗」理解をめぐって 【今井秀和】

第五章 『牛頭天王曆神辯』における古備真備批判の意味
——篤胤と近世祇園社との共振 【鈴木耕太郎】

第六章「女学」という名付け
——ユニバーサルとパーソナル 【森瑞枝】

コラム①「一つの世界」のなかの平田篤胤
——比較神話学の夜明けと篤胤 【彌永信美】

II 時代を超えた共振

第七章 篤胤のなかの中世
——その神学的方法に底流するもの 【小川豊生】

第八章 寅吉をめぐる冒険 【三ツ松誠】

コラム②明治の平田家、平田胤雄と印行社 【相澤みのり】

第九章 柳田国男と「平田派」の系譜

——大國隆正と宮地巖夫に注目して 【渡勇輝】

第十章 平田国学とキリスト教 【齋藤公太】

第十一章 再生する平田篤胤
——世紀転換期の「神道史」叙述における「事実」と「想像」をめぐって 【木村悠之介】

コラム③平田篤胤と酒井勝軍の神代文字観
——「完全言語」として 【吉田唯】

第十二章 神仙・調息・ファシズム
——平田篤胤と近代異端神道をめぐって 【齋藤英喜】

あとがき
執筆者略

◆著者略歴

山下久夫(やました ひさお)

一九四八年生まれ。専攻は日本思想史・日本文学。博士(文学)。金沢学院大学名誉教授。主な著書・論文に『秋成の「古代」』(森話社)、『本居宣長(笠間書院)』、『篤胤のトポス』(日本文学)、『五三巻一〇号』、『篤胤の「神話の眼」(清川祥恵他編)』、『はなせ神話(ミュトス)を語るのか』、『文学通信』ほか。

齋藤英喜(さいとう ひでき)

一九五五年生まれ。専攻は神話思想史。佛敎大学歴史学部教授。主な著書に、『増補・いざなぎ流 祭文と儀礼』(法藏館文庫)、『折口信夫 神性を拡張する復活の喜び』、『ミネルヴァ書房』、『読み替えられた日本書紀』(角川選書)、『異貌の古事記』(青土社)ほか。

注文書	
(書店印)	
様冊	ご担当
法藏館	山下久夫、齋藤英喜編
定価 六、六〇〇円	平田篤胤 狂信から共振へ
住所	ISBN:978-4-8318-6276-1 C3021
お電話	
お名前	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

歴史